

全国共同店舗連盟 創立40周年記念大会

全国共同店舗連盟は7月18日、東京都内で連盟結成40周年・法人化25周年式典を開催した。

大会は中小企業と地域再生議員連盟会長で自由民主党中川秀直政調会長や石毛博行中小企業庁長官等多くの来賓をはじめ約200名が参加。千葉県からは本会の菊地五月男副会長（協）東金ショッピングセンター（協）酒々井ショッピングセンターが参加した。



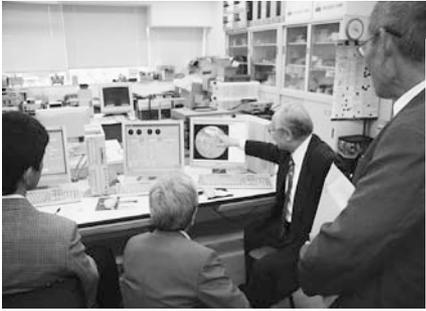
乾杯の挨拶をする菊地副会長



記念大会

産学連携交流会

本会は8月1日、習志野市の千葉工業大学において、千葉工業大学（本岡誠一学長）や千葉県異業種交流融合協議会（春川紀雄会長）等と共に産学連携交流会を開催した。



千葉工業大学総合研究所内



挨拶する鈴木事務局長

はじめに本会の鈴木幸雄事務局長と千葉工業大学本岡誠一学長の挨拶の後、千葉工業大学産官学融合センターの南和一郎教授より千葉工業大学の沿革と学部編成の概要説明があり、その後、各研究室・施設を見学し、引き続き全体交流会が行われた。

見学した各研究室のテーマと説明者は次の通り。

- ①人工衛星による地球規模の生態観測システム（総合研究所林友直教授）
- ②快適音環境の創生（音響情報フロンティアセンター横山栄研究員）
- ③超軽量・高強度マグネシウム合金へのナノテクノロジーの応用と実用（機械サイエンス学科船見国男教授）
- ④千葉県「地下かん水」より産出する資源（メタン・ヨウ素・フルボ酸）の高度利用（生命環境科学科滝口泰之教授）
- ⑤マグネシウム材料の製造（大学院生城戸太司）
- ⑥マグネシウム材料の加工（大学院生岩井匡之）。

中小企業診断士 更新研修

中小企業診断協会千葉県支部（大橋唯男支部長）は、8月6日と9月2日に平成18年度理論政策

更新研修会を開催した。

講義は①中小企業政策について②中小企業診断士制度の改変について③わが社の歩みと将来戦略と題して第1回目はインターネット（協）会員の明生工業（株）人見勝之会長、第2回目は千葉県貿易（協）会員のタナカ工業（株）の田中孝哉社長の講演があった。

モデル組合決定

本会は8月9日に選考委員会を開催して、本年度のモデル組合に、次の2組合を指定した。

モデル組合は、常時使用する従業員が5名以下（商業・サービス業は2名以下）の企業が構成員の4分の3以上を占める「小企業者組合」のなかで、他組合のモデルとなる組合を指定し、当該組合行う教育・情報提供事業と成果普及事業に必要な経費を助成するもの。

▼千葉県電気工事工業組合（代表理事 今関真人）

▼連沼商業振興協同組合（代表理事 小川平）

まちづくり条例の制定を 千葉県知事へ要望

千葉県商店街連合会（渡辺祥会長）は8月9日に、大型商業施設、チェーン店の営業に関する「まちづくり条例」について「商店街において事業を営む者は、地域振興の中心的役割を果たす商店会に積極的に加入するよう努めること」等の条文を含んだ条例の制定を堂本暁子千葉県知事に要望した。

組合事務局責任者懇談会

本会は8月21日千葉市内において組合事務局責任者懇談会を開催した。懇談会は「工業・建設業関係組合」と「商業・サービス業組合」が別室に分かれ、はじめに「これからの組合事務局に求められるもの」をテーマに工業関係では流山工業団地（協）の上坂専務理事と千葉県生コンクリート工業組合の関専務理事が、商業関係では千葉県木材市場（協）榎戸情報館統括マネージャーと千葉県ビルメンテナンス（協）の花沢専務理事が意見発表を行なった。続いて中小企業診断士の安藤孝先生と鳥巢研二先生が座長となり意見交換を行い、その後、合同で交流会が開かれた。